

審 議 事 項

件名・議案		提案者	別添 資料 (頁)	提案理由等 (※シンポジウム等、後援関係については概要を記載)
1. シンポジウム等				
提案1	公開シンポジウム「南海トラフ地震に学界はいかに向き合うか」	土木工学・建築学委員会委員長	別添 (1～2)	主催：日本学術会議土木工学・建築学委員会、東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会 日時：平成25年12月2日（月）13：00～17：30 場所：日本学術会議講堂 ※第三部承認

提案 1

公開シンポジウム「南海トラフ地震に学界はいかに向き合うか」の開催について

1. 主 催： 日本学術会議 土木工学・建築学委員会
東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

2. 共 催：なし

3. 後 援：なし

4. 日 時：平成 25 年 12 月 2 日（月）13：00～17：30

5. 場 所： 日本学術会議講堂

6. 分科会の開催：無

7. 開催趣旨：

東日本大震災は、大規模災害への対策や対応には、多様な研究分野の連携と融合が不可欠なことを明らかにしたが、さらに大規模な被害想定が政府中央防災会議 によって発表された。南海トラフ巨大地震による大震災である。この想定結果を踏まえて、防災・減災のために、様々な学術分野がどのように向き合い、どのような学際的な連携を進めていくべきか。本シンポジウムでは、理学・工学の関連分野に加え、社会経済などの人文・社会科学や医学をはじめとする生命科学を含めた幅広い分野の研究者・専門家が集まり、分野の壁を越えて議論する。

8. 次 第：

司 会 目黒 公郎*（日本学術会議連携会員、東京大学生産技術研究所教授）

13：00 挨拶・趣旨説明

挨 拶 大西 隆*（日本学術会議会長、東京大学名誉教授）

趣旨説明 和田 章*（日本学術会議第三部会員、東京工業大学名誉教授）

学協会連絡会の紹介

依田 照彦*（日本学術会議第三部会員、早稲田大学理工学術院創造理工学部教授）

13：20 政府の南海トラフ巨大地震の被害想定と対策について

日原 洋文 （内閣府政策統括官（防災担当））

13：50 ディスカッション「南海トラフ地震に学界はいかに向き合うか」
ー幅広い分野の学者・専門家による分野の壁を越えた議論ー
コーディネータ

米田 雅子*（日本学術会議連携会員、慶應義塾大学特任教授）

パネリスト

日本学術会議会員、各学会代表者（調整中）

テーマ1： 事前防災への取組み

テーマ2： 発災時の対応と備え

テーマ3： 発災後の回復力の強化

17：00 全体討論

17：25 閉会挨拶

家 泰弘 （日本学術会議副会長、東京大学物性研究所教授）

9. 関係部の承認の有無：第三部承認

（*印の講演者は、主催委員会委員）